



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月12日

上場会社名 株式会社 Olympicグループ 上場取引所 東
 コード番号 8289 URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木住野 福寿
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 木村 芳夫 TEL 042-300-7200
 四半期報告書提出予定日 2022年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	74,401	△9.6	1,959	△49.2	1,860	△50.8	1,156	△54.2
2021年2月期第3四半期	82,320	9.6	3,857	714.9	3,780	—	2,523	—

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 1,131百万円 (△54.9%) 2021年2月期第3四半期 2,509百万円 (880.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	50.34	—
2021年2月期第3四半期	109.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	65,266	27,056	41.5	1,175.11
2021年2月期	65,082	26,410	40.6	1,149.75

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 27,056百万円 2021年2月期 26,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2022年2月期	—	0.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	△1.6	4,100	△12.1	4,000	△12.5	2,500	△17.8	108.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	23,354,223株	2021年2月期	23,354,223株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	383,449株	2021年2月期	383,449株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	22,970,774株	2021年2月期3Q	22,971,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年3月1日から2021年11月30日まで）においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴い断続的に繰り返し発出された緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、経済活動は様々な制約を受ける状況が続きました。夏以降は、ワクチン接種が進んだことや各種政策の効果もあり、新規感染者は減少に向かい、緊急事態宣言解除後に移動制限が緩和されたことにより経済活動は持ち直しの動きもみられる状況になりましたが、新型変異株が世界的に感染拡大しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

消費行動については、前年の同時期に見られた外出自粛等に伴う巣ごもり需要は一巡し、食品の需要についても全体的に落ち着きを見せております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、グループ全店舗等を通じて感染症拡大の防止に細心の注意を払いながら、地域社会のライフラインを守るべく、安定した商品供給に努めてまいりました。

食品分野におきましては、店舗規模に応じた商品構成への転換を引き続き進めており、当期首より連結の範囲に加えた㈱優翔が運営する「スーパーマーケット フジマート」を㈱Olympicの運営に切り替えるとともに、Olympicの店舗フォーマットへの改装を実施いたしました。

ディスカウント分野におきましては、日用必需品を中心とした品揃えで、季節や地域生活のニーズに対応できる売り場づくりを進め、従来からの、チラシに頼らず毎日お求めやすい価格で商品をご提供し続けるEDLP政策を継続しております。

出店に関しましては、9月にディスカウントストア「Olympic外神田店」（東京都千代田区）、10月にはディスカウントストア、㈱おうちDEPOが運営するホームセンター、㈱ユアペティアが運営するペット専門店、自家焙煎の高品質なコーヒーを提供する「GRAIN COFFEE ROASTER」を合わせた「Olympicおリーぶユーザーが丘店」（千葉県佐倉市）を新規に出店いたしました。

また、動物病院を経営する㈱動物総合医療センターにおきましては、㈱ユアペティアとの連携を強化しながら、CT画像検査機などを活用した高度医療を提供できる、当社4病院目となる「動物総合医療センター高井戸」（東京都杉並区）を「Olympic高井戸店」に開院いたしました。

業績については、マスクや除菌関連などの衛生用品や住居関連用品、日用雑貨など特需となった前年からの反動減が続いており、食品につきましても前年同期の水準を下回って推移いたしました。また、経費面では、グループ全体を通じて店舗運営の効率化を進め、費用対効果を検討しながら徹底した経費の節減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高に営業収入を加えた営業収益は744億1百万円（前年同四半期比9.6%減）となり、営業利益は19億59百万円（前年同四半期比49.2%減）、経常利益は18億60百万円（前年同四半期比50.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億56百万円（前年同四半期比54.2%減）となりました。

なお、当社グループは、小売事業の割合が高く、小売事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億84百万円増加し、652億66百万円となりました。これは主に商品、土地が増加したこと、現金及び預金が減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億61百万円減少し、382億9百万円となりました。これは主に買掛金、短期借入金が増加したこと、未払法人税等、長期借入金、その他の流動負債のうち未払消費税等が減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億45百万円増加し、270億56百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績につきましては、2021年4月13日の決算短信で公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,572	3,957
受取手形及び売掛金	1,365	1,509
商品	9,608	9,996
その他	1,232	1,504
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	16,778	16,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,880	11,883
土地	15,093	15,414
その他(純額)	1,941	2,100
有形固定資産合計	28,915	29,398
無形固定資産	1,488	1,567
投資その他の資産		
敷金及び保証金	14,003	14,031
その他	3,896	3,301
投資その他の資産合計	17,899	17,333
固定資産合計	48,303	48,298
資産合計	65,082	65,266
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,727	9,338
短期借入金	13,527	16,473
未払法人税等	1,303	55
賞与引当金	386	662
資産除去債務	7	—
その他	4,430	2,777
流動負債合計	28,383	29,308
固定負債		
長期借入金	7,156	6,165
退職給付に係る負債	17	17
資産除去債務	617	664
その他	2,495	2,054
固定負債合計	10,287	8,901
負債合計	38,671	38,209
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	6,839	7,510
自己株式	△293	△293
株主資本合計	26,322	26,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88	63
その他の包括利益累計額合計	88	63
純資産合計	26,410	27,056
負債純資産合計	65,082	65,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	77,269	69,651
売上原価	51,304	44,711
売上総利益	25,965	24,940
営業収入	5,051	4,749
営業総利益	31,016	29,689
販売費及び一般管理費	27,158	27,730
営業利益	3,857	1,959
営業外収益		
受取利息	23	21
受取配当金	34	9
債務受入益	29	16
その他	56	50
営業外収益合計	143	97
営業外費用		
支払利息	208	183
その他	12	12
営業外費用合計	221	196
経常利益	3,780	1,860
特別損失		
固定資産除却損	36	85
減損損失	29	—
投資有価証券評価損	21	—
特別損失合計	86	85
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	3,693	1,774
匿名組合損益分配額	△29	△64
税金等調整前四半期純利益	3,722	1,839
法人税、住民税及び事業税	1,167	508
法人税等調整額	31	174
法人税等合計	1,199	683
四半期純利益	2,523	1,156
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,523	1,156

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	2,523	1,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△24
その他の包括利益合計	△14	△24
四半期包括利益	2,509	1,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,509	1,131

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。